

# 耐火建築物と 準耐火建築物の 主な違い

耐火建築物は「火災に強い」「地震や台風に強い」

## 耐火建築物)

主要構造部が耐火構造であるもの又は耐火性能検証法等により

火災が終了するまで耐えられることが確認されたもので、外壁の開口部で延焼のそのれのある部分に防火戸等を有する建築物のことをいいます。

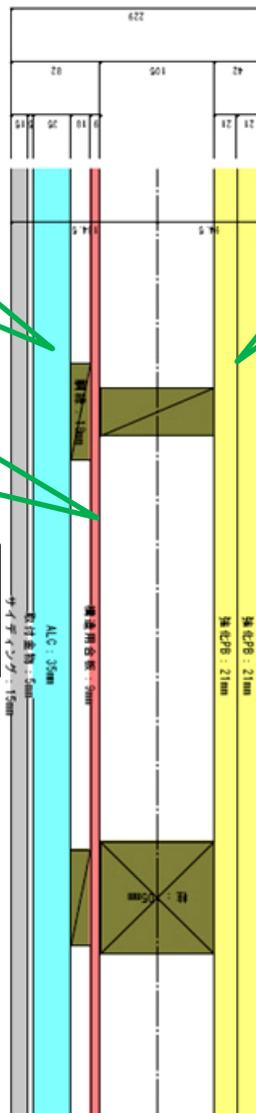
## 防火戸等)

通常の火災による火熱が加えられた場合に20分間火熱を遮るものとして国土交通大臣が定めたもの(平12建告1360)又は、国土交通大臣の認定を受けたものをいいます。

## 用語説明)

- ALCパネル ⇒ 軽量気泡コンクリート
- 構造用合板 ⇒ 地震や台風で建物が変形するのを防ぐ特に強度のある合板

### 耐火構造



ALC  
パネル

構造用  
合板

屋外側

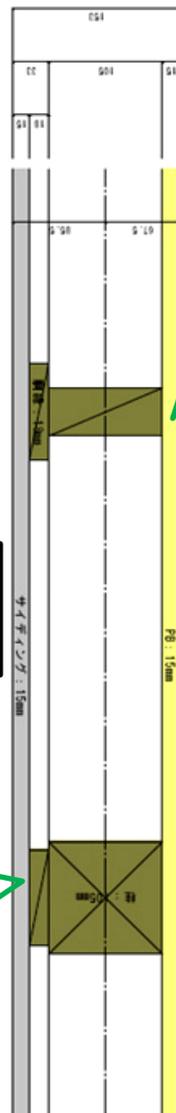
屋内側

室内  
ボード  
2枚

※耐火構造は使用している部材が多い為室内は約7センチ狭くなる

外壁は  
サイディング  
1枚のみ

### 準耐火構造



室内  
ボード  
1枚

屋外側

屋内側